

第 14 回 投資で失敗する人が多い理由

金融資産は日々価格が変動しています。

投資で大損する人はほぼ全員が短期的に投資(投機)し、値動きに翻弄されて損失を重ねています。

ここには単に未熟ということ以外に人間心理が深く関連しています。

今回はそんな「なぜ失敗する人が多いのか？」を通して投資初心者はどうすればいいかについてお伝えします。

プロスペクト理論

まずは心理からです。

プロスペクト理論については手前味噌ですが、こちらでくわしく解説しています。

<https://morihiroki.blog.com/mind-prospect1>

ざっくり説明すると、

- ・人は平常時は安定志向だが損失時はリスク志向になる
- ・1000円拾うより1000円落とす方が2倍大きく感じる
- ・あまりにも大きな数字で確率を提示されると正確に判断できず期待感を抱く(例:宝くじ1等の当選確率は2千万分の1=0.00000005%)

といった心理傾向がある、という理論です。

悪い方に期待(プロスペクト)してしまう人間心理がある、とだけでも覚えておいてください。

この心理は投資だけに働くわけではありません。

前述の宝くじはいい例ですが、

客観的に厳しい状況なのに根拠のない期待に賭けて好きな娘に告白→あえなく玉砕

なんかもそうです。自分に都合よく考えて、

「何とかなるはずだ」

という淡い期待にすぎることによって現状の不安な気持ちから逃れる、

という本能的なものなので厄介です。

前回、損失は投資にはつきものだとお伝えしました。

つまりプロスペクト理論もつきものであって、知っていて気をつけるのと知らず知らず翻弄されるでは天と地の差が生じてしまうのです。

損失を限定する

金融資産の価格は上下するので、例えば上がると考えて買ったのに下がって損するなんて当たり前にあります。

未来は誰にも分らないので、勝ち続ける凄腕トレーダーでも投資の神様ウォーレン・バフェット氏でも損する場面は必ずあります。

利益を上げ続ける投資家が必ずやっているのが、

損失局面になったときに許容範囲内で損失を止める

ということです。

つまり、損失を認めて決済してしまうのです。

損切りといいます。

損失を限定することによって、後は利益を伸ばすのみになります。損失以上に利益を上げた結果が彼らの莫大な資産です。

損切りを格闘技に例えるなら、腕を極められてギブアップを宣言するようなものです。

そのまま我慢してたら激痛が続き、最悪折れます。

重大になる前に止めてしまえば、すぐに再起できます。

しかし折れた場合まず完治するまで待ち、衰えた体を鍛え直し、といったことに時間や労力を費やすハメになります。

選択ひとつでその後が全く違ってきます。

ここで大事な点をお伝えしておく、損切りは主に短期投資でやるものだということです。

長期投資ではゴール地点でしっかり増えていけばいいのでいちいち下がったからといって損切りしては資産は増えません。

つまり、**長期投資と短期投資では考えも気をつける点も違うの**

です。

これがごっちゃになった未熟な人がプロスペクトの餌食になります。おまけに短期投資は初心者向きではありません。

メディアの偏向報道で短期投資、特にトレードの派手さばかりが広まっていますが、初心者は長期投資で慣れながら知識を深めていくのが投資の王道といえます。

長期投資での損失の限定は、前回お伝えした通り**分散投資で目減りを抑える**ことです。

中級者ともなれば、金融資産の一部に短期投資を組み込むことで経済ショック時の下落をも利益にすることで長期の減りをカバーするという選択もできます(短期投資に慣れておく必要はありますが)。

短期投資は長期投資に慣れてから始めるべき、さらにメインの投資対象にすべきではない、と覚えておいてください。

資金ができてから始めればいい

初めから十分な資金があって投資を始める人は少ないです。

本業と副業で収入を増やして余剰金を作り、少額から積立投資を始めていけばいいです。

収入が増えて余剰金が増えれば資産形成スピードは段違いになります。なのでまずは人的資産アップ、副業をオススメしてきました。

前回焦ってはいけないとお伝えしましたが、

「とにかく始めないと」

という考えはサギや嘘の罠にかかる危険が高くなります。

まずは知識を吸収しながら副業に力を入れ、余剰金を捻出しながら生活費の半年分は貯蓄しておきましょう。

その後は国が用意してくれた iDeCo と NISA という制度で利益非課税や税制メリットを受けて投資スタート。

海外株インデックス投資という金融商品が必ず入ってますので毎月積立投資しながらより深い知識を身につけながら実践して経験を積む。

これが今のところの最適解と考えます。

今回は、

- ・人は投資で損しやすい心理傾向がある
- ・損失は、「なくす」ではなく「限定する」
- ・長期投資と短期投資は別物、初心者は長期積立から
- ・余剰金が捻出できないなら焦らず、まずは知識と副業を

ということをお伝えしてきました。

お金を

守る（知識と情報力）→稼ぐ（本業と副業）→増やす（投資）

をサイクルにしていくことが安定運用の基本です。

短期投資は難しいので一旦置いておいて、まずは長期積立投資から始めるようにしましょう。

次回は、短期投資に魅力を感じる要因 "レバレッジ(てこの原理)" への正しい理解についてお伝えします。

森 ひろき